

ほっと浦安

児童発達支援

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

11月

25日

法人（事業所）理念		・小さな要望にも耳を傾け、心を込めて支援します。・どんな時も明るい笑顔と挨拶を欠かしません。・安心安全な環境作りに努めます。									
支援方針		・ご利用者様一人一人の個性や特性をアセスメントし、それぞれのニーズに合わせた個別・集団プログラムを提供する。 ・本人、保護者様にとって安心できる居場所としての環境を作る。 ・就学に向けて身辺自立を中心とした様々なスキルの獲得や他者とのコミュニケーションを身に付けられるような支援を行なう。									
営業時間		学校課業日	11時	00分	から	17時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		学校休業日	11時	00分		17時	00分				
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・スケジュールボードの提示や写真、イラストなどを活用した視覚支援・構造化を行う。 ・衣服の着脱、手洗い、食事（おやつ）、排泄など身辺自立に関して、児童の発達特性に合わせた支援及び道具の活用。 ・季節に合わせたイベント・制作活動の実施、調理や外出活動等を通して四季の理解や興味の幅を広げられるような支援を行う。									
	運動・感覚	・ヨガや体操、音楽を使った活動（リトミックやミュージックケア等）を定期的に行い、基礎体力の向上や筋力の維持、身体のコントロールが出来るよう支援を行う。 ・様々な自立課題や保育士が考案した制作活動による微細運動の向上や道具の使い方の獲得を図っている。 ・様々な感覚統合遊びを通して、児童それぞれの保有する感覚の発達を促す。・理学療法士による個別又は小集団活動及びプログラムの監修。									
	認知・行動	・各児童に合わせた数や色、文字や時間などの認知機能の形成・獲得の要素を取り入れた遊びや活動、プリント学習等の提供。 ・絵カードや写真カード、イラストなどを取り入れることや事業所内構造化により、状況の理解や適切な行動の獲得を目指す。 ・本人の興味・関心に沿った課題設定を行い、環境調整も行いながら、自発的に課題に取り組めるよう支援を行なう。									
	言語 コミュニケーション	・平仮名カードやイラストカードを活用し、文字や物への興味や理解を促すと共に、コミュニケーション手段の拡充を促す支援を行なう。 ・言葉では上手く表出出来ない児童に対しては絵カードや写真カード等も活用し、コミュニケーション自体を楽しんでいることが出来るような支援を行なう。 ・絵本や紙芝居の読み聞かせ、各活動時の説明や挨拶など他者の話を聞く力が身に付けられる支援を行なう。									
	人間関係 社会性	・支援者との個別活動や小集団などの活動から他者への意識や関心、関わり方が育まれるような支援を行う。 ・活動や会などを通して集団の中で周囲に合わせた行動（挨拶や着席、返事等）が出来ていくよう支援を行う。 ・動きの模倣遊びや見立て遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びへの移行が出来るよう支援を行なう。									
家族支援		・保護者会、懇親会の開催。 ・定期的な面談によるアセスメントや助言、情報提供等を行う。				移行支援		・必要に応じて入園先や就学先、他事業所との連携や情報交換等を行う。			
地域支援・地域連携		・発達センターや児童館等地域のイベントに参加。 ・クリスマス等イベント時に近隣施設の方の招待、交流等。				職員の質の向上		・会社による統一した新入職員研修・専門職による事業所内研修 ・外部研修（救急救命、安全教室、その他行政主催研修） ・自他事業所での事故報告、ひやりの確認及びそれに基づく考察			
主な行事等		・季節に合わせたイベント実施（お花見、プール・水遊び、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、お正月遊び等） ・定期的なイベントや外出活動（クッキング、実験、屋内外施設へのお出かけ）									